

平成27年8月野田市教育委員会会議録

- ◇日時 平成27年8月26日（水）午後1時30分開会 午後2時15分閉会
- ◇場所 野田市市役所 本庁舎 低層棟4階 委員会室
- ◇出席者 東條三枝子教育長 高橋保教育委員 伊藤稔教育委員 飯田芳彦教育委員 永瀬大教育委員
- ◇説明職員 釜田正雄生涯学習部長 杉山一男生涯学習部次長（兼）教育総務課長 伊藤公夫参事（兼）社会教育課長 横島司社会体育課長 上原定夫青少年課長 相島一美文化センター長 寺田幸生興風図書館長 長谷川昌男学校教育部長 桑原辰夫学校教育部次長（兼）指導課長 長妻美孝学校教育部参事（兼）学校教育課長

◇書記 松田隆教育総務課長補佐

◇付議事件  
なし

◇教育長の報告事項

- ・教育総務課
  - (1) 平成27年度耐震工事関係の進捗状況について
- ・社会教育課
  - (1) 第1回野田市社会教育委員会議の概要報告について
  - (2) 第1回野田市公民館運営審議会の概要報告について
  - (3) 戦後70周年記念事業について
  - (4) 寄附について（阿弥陀如来像を修理するための指定寄附）
  - (5) 川間公民館の改築について
  - (6) 関宿中央公民館の補正予算について
- ・社会体育課
  - (1) 平成27年度野田市スポーツ推進審議会委員及び野田市スポーツ推進員合同研修会について
- ・文化センター
  - (1) 戦後70周年記念事業映画「日本のいちばん長い日」試写会について
  - (2) 指定寄附について（勤労青少年ホーム施設整備）
  - (3) 文化センターの補正予算について
- ・興風図書館
  - (1) 第1回図書館協議会の概要報告について
- ・学校教育課
  - (1) サマースクールの報告について
  - (2) 中学校教諭の逮捕について
- ・指導課
  - (1) 全国学力・学習状況調査の結果について
  - (2) 第1回土曜授業アンケートの結果について
  - (3) 児童・生徒の諸活動の結果について

(4) 寄附について(野球用グローブ)

◎東條教育長

ただいまから平成27年8月教育委員会定例会を開会いたします。

それでは、会議を始めます。

本日の会議録署名委員を飯田委員にお願い致します。

次に、会議録承認の件に入ります。

3件ございます。7月1日臨時会分、7月定例会及び7月29日臨時会の会議録についてご確認をお願い致します。

いかがでございましょうか。よろしいでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

ご異議なしと認めまして、7月1日臨時会、7月定例会及び7月22日臨時会の会議録につきましては承認を致します。

それでは、本日の議案審議はございませんので、教育長の報告事項のみとなります。

報告事項に対する質問につきましては、報告事項の説明終了後に一括して質問をお受けしたいと思います。

それでは最初に、教育総務課からお願いします。

教育総務課長。

◎杉山教育総務課長

耐震工事関係の進捗状況について申し上げます。

本年度完了予定の学校の耐震化につきましては、現在校舎3棟及び体育館4棟、合計7棟の耐震補強工事と宮崎小学校教室棟の一部改築工事を進めております。

学校生活に支障の出る騒音、振動を伴う工事については、夏休み期間中に工事を完了させることとしており、校舎棟については屋根防水、外壁改修等、体育館については内外装の改修工事等を進めております。

次に、非構造部材の耐震化工事についてですが、照明器具落下防止対策につきましては、27年3月に改定された学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブックに基づき、現地調査をしたところ、補強する必要がある箇所が少ないことがわかりました。そのため、工事内容に応じた経費を本議会の補正予算で減額させていただいております。

吊り天井撤去工事につきましては、関宿小学校体育館は8月31日に、第一中学校武道場が9月30日の工事完了を予定しております。

また、照明器具の現地調査に、みずき小学校体育館において新たに吊り天井撤去工事を実施する必要があることが判明し、これにかかわる補正予算を本議会に計上させていただいております。

耐震工事以外には、学校のトイレの洋式化につきましては、年次計画で進めておるところでございますが、今年度の第一中学校のトイレ改修工事につきましては、財源に学校施設環境改善交付金2,528万5,000円を見込んでおりましたが、国の予算配分の重点が負担金事業や耐震化事業に重点が置かれたため、交付の対象外となりました。このことから、同額を本議会の補正予算で減額させていただいております。

なお、工事内容につきましては、トイレの内壁や壁の改修を取りやめるなど、一部を変更いたしました。主要な工事につきましては当初の予定どおり、実施しております。

以上でございます。

◎東條教育長

社会教育課長。

◎伊藤社会教育課長

社会教育課所管の6事業についてご報告いたします。

最初に、第1回野田市社会教育委員会議の概要についてご報告します。

会議は7月1日付けで委嘱されました新委員による最初の会議であり、7月30日木曜日に中央公民館を会場に、委員12人中9人の出席により開催をいたしました。

会議の内容といたしましては、正副委員長を選出いたしまして、委員長に鈴木昭夫氏、副委員長に文道尚子氏が委員の互選により、選出されました。

次に、これからの会議の進め方について事務局から説明をし、ご了承いただきました。

また、東葛飾地区社会教育連絡協議会主催による役員会、研修会等の日程等について説明を行いました。

次に、第1回野田市公民館運営審議会の概要についてご報告します。

会議は7月1日付けで委嘱されました新委員による最初の会議であり、7月31日に中央公民館を会場に、委員25人中21人の出席により行われました。

会議の内容といたしましては、正副委員長の選出を行い、委員長に上原元則氏、副委員長に山崎廣司氏が委員の互選により、選出されました。

次に報告事項として、平成27年度公民館前期主催講座について、平成27年度子どもの学び舎「夏休み子ども自習教室」について、学校支援地域ボランティア養成講座について、この3件について中央公民館長及び各館長から報告をし、ご了承いただきました。

その他といたしまして、6月の市議会一般質問を受けて、公民館の予約受付前倒しについて質問させていただき、ご意見を伺いました。

次に、戦後70周年記念事業について、ご報告します。

8月4日から16日まで、鈴木貫太郎記念館を会場に特別展を開催し、3,388人の入館者があり、平和の尊さを再認識する機会となりました。

「関宿を語る会」と共同で発行いたしました記念誌「貫太郎翁の思い出」につきましては、8月4日から鈴木貫太郎記念館において有償発行し、8月14日に予定数の504冊を完売いたしました。さらに入館者の方々の購入希望が多数寄せられているため、増刷することといたしました。

特別展開催期間中の他の施設との連携事業として実施しました鈴木貫太郎記念館、関根名人記念館及び千葉県立関宿城博物館を回るスタンプラリーについては、会期終了前の8月14日には3施設全てを回る達成者が300人を数えました。

次に、郷土博物館所蔵の資料である阿弥陀如来像を修理するための指定寄附金として、野田市野田245番地、茂木七佐衛門様から7月24日に108万円をいただきました。9月議会において所定の手続きをとり、資料の修繕を進めていく考えでおります。

次に、川間公民館の改築について、建設検討懇談会委員長からのご報告をもとに、平成26年度及び27年度の2か年事業で進めておりました実施設計がまとまりましたので、工事を27年度、28年度の2か年継続事業で実施する関係予算について、9月議会の補正予算に計上させていただいております。なお、完成は28年12月を目指しております。

最後に、関宿中央公民館冷房設備が故障し、修理不能であることから、行政改革大綱新規マネジメント基本方針に基づき、改修工事を行うこととし、実施設計業務にかかる経費を9月議会の補正予算に計上させていただいております。なお、工事にかかる予算については、12月議会に補正予算を提案したいと考えております。

関宿中央公民館を利用される団体に対しては、扇風機の貸し出しや小まめな水分補給など、熱中症対策への注意喚起を行いながら、職員の見回りを強化して対応するとともに、利用時間の短縮や関宿コミュニティ会館等での利用をお願いしているところです。

以上です。

◎東條教育長

社会体育課長。

◎横島社会体育課長

社会体育課からご報告させていただきます。

平成27年度野田市スポーツ推進審議会委員及び野田市スポーツ推進員合同研修会につきまして、ご報告いたします。資料は4ページから10ページになります。

この合同研修会は、野田市スポーツ推進審議会委員とスポーツ推進員が交流することにより、情報交換及び親睦を図り、先進地の活動状況などを学ぶことにより、今後の野田市の社会体育及び生涯スポーツの推進を図ることを目的として、2年に一度、実施しております。

今年度は18名の委員に参加をいただき、午前中は市原市のゼットエー武道場の施設見学を行いました。このゼットエー武道場は大道場をはじめ、弓道場、相撲場、エアライフル場、健康増進センターなどを備えており、県大会なども行われている複合施設でございます。また、午後は千葉市にある泉自然公園におきまして、ポールウォーキングの講習などを行いました。

当日は天候にも恵まれ、スポーツ推進審議会委員とスポーツ推進員の交流も図られ、大変好評でありました。

以上でございます。

◎東條教育長

文化センター長。

◎相島文化センター長

戦後70周年記念事業映画「日本のいちばん長い日」試写会についてご報告いたします。

今回の映画は戦後70周年記念事業として、平和の尊さを再認識する機会として、8月4日に文化会館で実施しました。当日の入場者数は、当選者など858人でした。

当日実施しました事業アンケートの講演に対する意見、感想ですが、封切り前の映画を見られることに大変驚きました。原田監督の挨拶から映画に込められた気持ちを酌み取ることができた。歴史の再認識ができ、大変よかったなど、大変好評の意見となっており、試写会を通して、平和の尊さを再認識する機会として、戦後70周年記念事業の趣旨に寄与できたものと考えております。

次に、指定寄附ですが、勤労青少年ホーム施設整備指定寄附としまして、野田市山崎2228番地の19、野田市手をつなぐ親の会会長松田正巳様から59万円の寄附をいただきました。9月議会において所定の手続きをとり、施設整備を進めたいと考えております。

次に、文化センターの補正予算ですが、行政改革大綱の新規マネジメントの基本方針に基づき、文化会館での障害者、高齢者等の利用の利便性向上を図るため、玄関スロープの改修や階段手すりの取り付けなどの改修及び勤労青少年ホームトイレ改修工事を行うこととし、9月議会の補正予算に計上させていただいております。

以上でございます。

◎東條教育長

興風図書館長。

◎寺田興風図書館長

8月20日木曜日に開催されました平成27年度第1回野田市立図書館協議会の概要についてご報告させていただきます。資料は11ページになります。

当日の協議会は興風図書館2階会議室を会場に、委員12名全員の出席をいただきました。内容といたしましては、平成27年度6月1日付けで委嘱いたしました委員による初めての会議でありましたので、委員長、副委員長の選出を行いました。その結果、委員長に筒井圭子氏、副委員長に河合章男氏を選出いたしました。

また、平成26年度の図書館の事業実施状況及び平成26年度運営数値目標の結果についてご報告し、了承をいただきました。

また、その他としまして、平成27年度の市内各公立の図書館の運営方針及び具体的施策、事業計画についてご報告させていただきました。

以上でございます。

◎東條教育長

学校教育課長。

◎長妻学校教育課長

平成27年度サマースクールにつきまして、ご報告を申し上げます。資料は12ページになります。

今年度は7月30日に開催をさせていただきました。当日は大変暑い中ですが、関係者の協力のもと、全ての活動を予定どおり、そして無事に行うことができました。

具体的な取り組みでございますが、前半は南部梅郷公民館におきまして、栄養士による料理教室と野田市医師会の岡田先生、関根先生によります保護者と児童に分かれての生活習慣病についての講演会を行いました。後半は南部小学校のプールにおきまして、インストラクターを招いてのアクアビクスを行いました。

児童や保護者からの感想は9月に提出いただくことになっておりますが、保健指導や閉会式での子どもたちからの意見発表では、楽しく体験できましたとか違う学校の人と楽しくできた。来年も参加したいと前向きな感想が多数出されました。

また、各学校の協力によりまして、昨年度より参加している児童・生徒がリピーターとして今年度も多数参加しており、より主体的な学びが得られたと思っております。

参加児童の合計は24名で、比較的混み合う料理教室の様子を見ていまして、適正な人数であったように思っております。しかしながら、新規の児童の参加は例年よりやや少なかったということがありますので、今後はサマースクールでの学びの楽しさを、おにぎらずやアクアビクスをはじめとした企画のおもしろさをさらにアピールしてまいりたいと思っております。

今回も保護者の都合により、子どもだけの参加を可としておりましたが、生活習慣の見直しは子どもと保護者の両者に行ってほしいという思いと、また、行き帰りの安全確保の面からも考えまして、保護者同伴のスタンスを今後は大切にしていまいりたいと思っております。

以上で報告を終わります。

続きまして、中学校教員の逮捕についてでございます。これは資料はございません。

委員の皆様にも、また今回の不祥事のことで大変ご迷惑をかけて、大変申しわけなく思っております。

逮捕の様子でございますが、平成27年8月17日月曜日、午前8時7分頃、野田市内の公立中学校教諭は、我孫子市天王台の路上に駐車していました乗用車の運転席で、下半身を露出していたところをすぐそばを通行した女性が目撃をしまして、110番通報し、駆けつけた警察官に現行犯で逮捕されました。事件の原因については、現在警察で捜査中でございます。当該教諭につきましては、現在は釈放され、実家に戻っております。

公立中学校では事件がありました8月17日当日の午後7時から、全保護者を対象としまして臨時保護者会を実施し、校長より事件の概要説明と謝罪を行いました。

併せて生徒の精神的なケアを図るために、市のスクールカウンセラーを増員するとともに、東葛飾教育事務所から教育相談専門家でありますスーパーバイザーを派遣してもらうこととしました。

教育委員会としましては、事件のありました翌日8月18日に臨時校長会議を開催しまして、再発防止に向けて各校において全力で取り組んでほしい旨を伝えるとともに、実態に合った不祥事防止研修の必要性と若手教員の意識改革について指導を行いました。今後も繰り返し指導してまいりたいと思います。

以上でございます。

◎東條教育長  
指導課長。

◎桑原指導課長

追加資料のほうをごらんください。

最初に全国学力・学習状況の調査結果についてでございます。1枚目をご覧ください。

4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果について申し上げます。今回の調査は例年どおり、全国の全ての小学校6年生及び中学校3年生が対象となって実施されました。

昨日、データが届きました。今年度は国語、算数、数学に加えて、理科が実施されました。市の平均正答率を全国の都道府県順位に組み入れて申し上げますと、国語についてはA領域の知識に関する問題、B領域の活用に関する問題について、それぞれ小学校が43位と48位、中学校が38位と28位となりました。

算数、数学はA領域、B領域について、それぞれ小学校が45位と48位、中学校が39位と25位となります。

理科はA、B領域はありません。結果は小学校が41位、中学校が43位でした。

国語については、小学校、中学校ともに記述式の問題に課題が見られました。算数については応用力に課題が見られるとともに、小数の計算など、基礎的な内容でも理解ができていない箇所が見受けられます。理科については記述式の問題に課題が見られ、小学校、中学校ともに生命や生物の分野が特に理解できていない状況でございました。

なにぶん、昨日、結果が届いたばかりですので、今後、分析を進め、次回の定例会議でご報告させていただきたいと思っております。

次に、土曜授業アンケートの結果についてご報告いたします。

今年度は、第1回のアンケートは土曜授業を6回実施した後の7月13日月曜日から7月16日木曜日の間に行いました。アンケートの対象は昨年度と同じく、児童・生徒及び保護者を抽出で、教職員は悉皆で行い、管理職も実施いたしました。

土曜授業は学力向上に役立ち、自分のためになるという質問において、肯定的な回答をした小学校児童は80%でした。昨年度、最後の調査結果では75.5%、中学校生徒は今回は59.8%、昨年度は51.3%でした。保護者は今年度68.1%で、昨年度は65.9%とともに微増

しており、教職員は68.5%、昨年度は58.5%でしたので、教職員は10ポイント上昇いたしました。

また、土曜授業で学習内容をわかりやすく教えてもらえたかという質問については、小学校児童の88.4%がそう感じているに対し、中学校生徒は57.3%にとどまっていますが、昨年度と比べますと、小中学校ともに上昇傾向です。

しかし、今後も土曜授業を続けてもらいたいという質問については、肯定的な回答をした小学校児童が39.4%、中学校生徒が27.4%で、昨年度から横ばいの状況でありました。保護者は67.7%が続けてもらいたいと高い数値で横ばいの状況にあります。

このような結果、各学校の土曜授業の取り組みに特に普段できない個別指導や習熟度別指導を行うようになったことが原因であると考えております。教職員は土曜授業で個別指導ができると考えている者が77.4%と昨年度に比べ、18.5ポイントも上昇いたしました。

8月6日には土曜授業実践協議会を開き、各学校が土曜授業でどのような取り組みを行っているのか、課題は何かを市内小中学校の教務主事の先生方で協議いたしました。同時に土曜授業検証委員会を開き、土曜授業の取り組みを検証し、次年度に向けて、より望ましい取り組みとなるように提言をお願いしております。

いずれにしましても、より多くの児童・生徒、保護者、教職員が土曜授業の有用性を感じ、より意欲的な取り組みとなるようにしていきたいと考えております。

3点目に、児童・生徒諸活動の結果について、追加資料の後ろから3枚目でございますが、ご覧ください。

関東大会、全国大会の結果について、ご報告いたします。

陸上では南部中の山田莉瑚さんが女子走り幅跳びで、関東大会で5メートル43で3位、全国大会では予選で5メートル59、決勝は5メートル28で12位でした。木間ヶ瀬中の野本優奈さんが女子走り高跳びで、関東大会では1メートル55で8位入賞し、全国大会で惜しくも予選敗退でした。東部中の瀬尾英明さんが男子200メートルで全国大会に出場しましたが、予選敗退でした。

柔道では第一中学校の國武陸さんが男子73キロ級で、飯塚大貴さんが男子66キロ級で関東大会に出場しました。國武さんは全国大会に出場し、3回戦まで進みました。

最後に水泳ですが、東部中の大木末紘さんが全国大会で女子100メートルと200メートル平泳ぎに出場しました。残念ながら予選敗退でした。南部中の渡邊直輝さんは関東大会に出場し、男子200メートル平泳ぎで8位に入賞しました。

音楽関係についてでございますが、資料がございませんので口頭でご説明いたします。千葉県吹奏楽コンクールにおいて岩名中学校がB部門で本戦に出場しましたが、その上の大会への出場は逃しました。千葉県小学校バンドフェスティバルと中学校マーチングコンテストが昨日25日に行われました。結果につきましては次回の定例会でご報告させていただきたいと思っております。

4点目としまして、イングリッシュ道場、追加資料の後ろから2枚目をごらんください。

野田市イングリッシュ道場は今年度新規事業として始めました。8月4日と5日の2日間、中央公民館を会場として市内中学3年生16人が参加いたしました。生徒を三、四人のグループに分け、外国語指導助手ALTを1人ずつ配置して、2日間集中して英語によるコミュニケーションをじっくり経験することができました。生徒自身がリスニング力やスピーキング力の向上を実感し、今後の英語学習への意欲づけにつながりました。

今後は本事業の成果と課題を検証し、より効果的な事業となるように検討してまいります。また、英語科教員のコミュニケーション能力向上を目的とした英語研修の充実を図る

とともに、小学校にも教科として英語が導入されることから、英語科指導法の研修を開始していきたいと考えております。

5点目としまして、資料はございませんが、寄附についてご報告いたします。

野球用グローブの寄附でございます。中学校の教育活動のための備品として、奈良県桜井市の株式会社アトムズ代表取締役岡田茂雄様から、野球用グローブ42個、140万円相当をいただきました。岡田様のご意向を踏まえ、出身中学校であります南部中学校で活用させていただく予定であります。

最後に資料はございませんが、平成28年度使用教科書について報告いたします。

7月の定例会議でご決定いただきました平成28年度使用教科書について、直ちに東葛飾西部採択地区協議会に報告いたしました。8月31日までは非公開情報であり、9月1日付けにて市内小中学校に通知する予定でございますが、採択地区協議会事務局が来年度から野田市教育委員会が担当になりますことをご報告いたします。

以上でございます。

#### ◎東條教育長

他に報告事項がありましたら、この際、お願いいたします。

ございませんでしょうか。

それでは、無いようですので、ただ今、報告のありました報告事項につきまして、質疑を行いたいと思います。委員の皆さんからいかがでしょうか。

高橋委員。

#### ◎高橋委員

2点お伺いをしたいと思います。まず1点目は、先ほど、図書館運営審議会の報告がありましたけれども、そこで数値目標が出たということをおっしゃっていました。今年度の数値目標はどのようになっていますでしょうか。それを教えていただけますでしょうか。それが1点です。

それから今、指導課長さんから土曜授業のアンケート結果について報告がありました。その中で、先生方のアンケートの中で土曜授業が児童・生徒の学力向上の一助になっていると、そういうふうにする、少しそう思うという数値は上向いていると、非常にありがたい話なんですけど、逆にいえば、まだ31%の先生方が土曜授業は効果ないよと、あるいは効果はないんじゃないか、そういう意識でいらっしゃるということなので、そこで、まだ分析が終わっていないのかもしれませんが、どうしたら土曜授業を効果的なものにしていけると。その31%の先生方がお考えになっているのか、そこら辺のところを分析できていけば、教えていただきたいです。

以上2点です。

#### ◎東條教育長

ただ今、2点ございました。いかがでしょうか。

興風図書館長。

#### ◎寺田興風図書館長

数値目標につきましては、人口に占める貸し出しの利用者の割合ということで数値目標を定めております。34%ということで定めております。これについてご報告いたしました。

あと追加で市民1人当たりの貸し出す点数について、数値目標であります7.0ということにしましたが、これにつきましても併せて報告をいたしました。

以上です。

◎東條教育長

貸し出し点数の目標は 7.0 冊で、登録してもらえる市民のパーセンテージが 34%ということでよろしかったですか。

◎寺田興風図書館長

はい。

◎東條教育長

2点目の土曜アンケート。

指導課長。

◎桑原指導課長

ご指摘いただきましたとおり、まだなかなか浸透しきれていないところはあるかと思いますが、今年度初めて、先ほど、ご報告いたしました土曜授業実践協議会ということで、各学校がどのような土曜授業を行っているのかということと全部の小中学校が集まった上で報告会を行いました。

その中で、先進的に取り組んでいる、効果があるのではないかと思われる実践についてかなり積極的な協議を行いましたので、そういったことを通じて、土曜授業の有効性についてさらに広めていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

◎東條教育長

よろしいでしょうか。

高橋委員。

◎高橋委員

今、各校が集まってという話があったんですが、今年度の土曜授業の実践において、特徴的な、恐らく紹介されているからあると思うんですが、特徴的な土曜授業をやっている様子を教えていただけますでしょうか。

◎東條教育長

指導課長。

◎桑原指導課長

これは中学校の例でございますけれども、まず子どもたちの学力層のターゲットを絞りまして、上位層、中位層、下位層というターゲットをまず絞った上で、例えば小学校からの算数を含めたステップアップ的なドリル学習、これを1、2、3年生ともに行うということを行っていたり、自習をする時間を設ける。テスト勉強に使う。これは中位層の子どもたちに向けてのターゲットということで実践している。当然、これは教師もついておりますけれども、基本は自習で行う。

3点目はNIE、新聞によるもので、これをまず読み、書き、それをグループごとに討論をし、最終的にグループでの討議の発表をすると、こういったことを繰り返している中学校がございました。非常にこれは有効的に働いておりまして、全国学力学習状況調査の無答率のほうにもかなり影響を及ぼしているのではないかと、今後、分析が必要かなというふうに思っております。

また、土曜アシスタントの活用について、どうしても時間がとりづらい。土曜に来ていただいて、どこに配置したらよいのかという課題もその中で見えてまいりました。例えば学校によっては、土曜アシスタントをクラスに固定して配置している学校もあれば、その日によって配置替えをしなければいけない学校もある。規模によって違ってまいります。

しかし、ある小学校では土曜アシスタントと教員との打ち合せ時間をはっきり明記した

上で、それを行うという実践も発表されておりまして、こういった点でも各学校、参考になっているかというふうに思っております。

以上でございます。

◎東條教育長

高橋委員。

◎高橋委員

ありがとうございました。

◎東條教育長

他にいかがでしょうか。

永瀬委員。

◎永瀬委員

全国学力・学習状況調査結果なんですけれども、私、わからないんですけれども、順位というのは各都道府県の県の平均点と比べたときの順位ということでいいんですよね。

そうすると、中学生は真ん中からちょっと下ぐらいかな、全体的にですけれども、そういう感じでいいと思うんですが、小学校6年生が国語Bと算数Bが48位という結果というのは、47都道府県なので、全てにおいて負けているという理解でいいということですか。

◎東條教育長

指導課長。

◎桑原指導課長

今、ご指摘のとおりでございます。

◎永瀬委員

中学生が大体、標準ぐらいの順位で、小学校6年生がほぼ全て40位台で、Bというのはわからないんですけれども、多分、応用力の部門だと思うんですけれども、そういうところで小学生と中学生で大分、開きが出ているというのは、どういった原因があるか、もしわかれば教えてください。

◎東條教育長

指導課長。

◎桑原指導課長

今、ご質問、これから分析をかけてみないと現状は分からないというのが本当でございまして、また、指導課のほうでもこれについて検討してまいりたいと思います。

以上でございます。

◎東條教育長

学校教育部長。

◎長谷川学校教育部長

単純に子どもたちが違いますので、小学校6年生と中学3年生での比較ということは難しいかなというふうに思います。中学校3年生につきましては、小学校6年のときに同じ学力テストをやっております。そのときと比べて、ほぼ同様な結果が得られております。

ですからこの小学校6年生につきましては、今後、さまざまな取り組みをして、その取り組みによって、中3のときにそれが改善が図られているかというところで結果が得られてくるかと思います。

ただ、小学校6年生につきましては各学校差がかなり大きいものですから、各学校ごとに分析を行っていき、成果が上がった学校ではどのような取り組みをしていたか、また、成果が上がらなかった学校については何が課題だったかということをして、今後分析をして、そ

れに向けた取り組みをしていきたいというふうに考えております。

以上です。

◎東條教育長

よろしいでしょうか。

◎永瀬委員

はい。

◎東條教育長

他にいかがでしょうか。

高橋委員。

◎高橋委員

1点、学力テストの関係なんですけど、まだその辺の分析が終わってないのかもしれませんが、今年度のこの結果を見て、全国平均との差、これは昨年度と比べて、どういうふうな状況になっているか。分析が終わってなければ、次回で結構です。

◎東條教育長

指導課長。

◎桑原指導課長

平均点での差ということではございませんが、例えば、多分、昨年度の全国平均と昨年度の小学校6年生、中学校3年生の各教科の平均と割り返したときに、全国平均を1として考えたときに野田市はどの数値になるのかということ調べてみました。

昨年度が、例えば小学校6年生、国語Aは1.005と全国平均を上回っておりましたが、今年度は国語Aに関して言いますと、0.971と若干下がっているということがわかりました。この傾向は小学校の全て、理科をぬかしまして、4つのテストで小学校は若干下降傾向というのが見られます。

中学校は逆に上がっておりまして、中学校の数学Aに関して言いますと、昨年度0.963であったものが今年度は0.977というふうに全国平均に近づいてきているということは、傾向としてつかんでおります。

あと、部長が申しましたとおり、各学校ごとの内容をこれから分析してまいりたいと思っております。以上でございます。

◎高橋委員

ありがとうございました。

◎東條教育長

他にどうでしょうか。

たくさん報告案件がありましたので。

よろしいでしょうか。伊藤委員、いかがですか。

伊藤委員。

◎伊藤委員

速報の学力調査の結果で、平均で見ると最下位に近いような結果が出たようなんですけども、恐らく次の詳細な回答数の分布を見ますと、多分、正答が10問以下の子供さん方が大体、全体の2、3%ぐらい、そのあたりの、トータルでいえば30名から40名ぐらいですよね。ということは小学校でいうと、学年で各学校さんで本当に数名の子供さんたちが正答率が10問以下の子というのは、3割ほどしかできていないと。

それで、A問題というのはほとんど基礎的な問題ですから、恐らく基礎の定着が十分でない子供さん方がそれぞれの学校の中で、あるいはクラスの中で1人2人いそうだという

ことがこの分布から見えるんですけれども、恐らくそういう子どもにボトムアップというか、支援がされると随分、トータルでの平均というのは変わる可能性があるだろうと。

この分布を見ると、大体20問から30問程度のところに山がぐっとずれていますので、6割から、この平均点の示すとおりの数値、70点前後に大体平均が動くんですけれども、下がずっと引っ張られて平均の全体が下のほうに寄せられているということを考えると、今後の対策としては、下の子供のフォローを十分、全体としては数%の子供さんたちの、正答率が10問以下の子どもたち、そういう子どもさんに対する特別な手当てが来年度に向けての数学あるいは算数、国語に対してはそういう。もうターゲットを決めて支援をするというのも1つの、こういう数値で出ちゃいますとかならず順位がトップからペケまで出ちゃうわけですので、そのあたりがやはり全体で見たとき、だんご状態で6割、7割のところで平均がいますから、特段、学力がとんでもなくひどい状態だということではないと思うんですけれども、全体の順位だけのところで議論されますと、やはり順位をどう考えるかということになると、下位層の子どもたちの学力をどう引き上げるかということのほうがかような学力対策では、恐らくできる子はそれなりにできて、できない子はどう勉強していいかわからない、どう学習していいかわからないという部分で、3割正答率がない子どもに対する手当てというのが課題にあるとすれば、必要なだろうなというのを感想ですけれども。

理科に対しては鍋底のようになだらかな山で、余り平均的な、全体的に理科の試験というのはこういうものかなというふうに見えたんですけれども、数学と算数あるいは国語については、どうしても山が6割、7割ぐらいの平均の中で下位層が引っ張っているなどというのを印象として思いまして、来年度に向けて、学力向上については下位層の子どもたちに何か手当てを。学校ごとに数名の子どもだとすれば、そういう特別支援の学習支援、個別の学習支援計画のようなものを下位層の子どもたちにつくることで、こういう手当てが改善できるのかなというのを感想ですけれども、思いました。

以上です。

◎東條教育長

ありがとうございました。

飯田委員から何かありますか。

◎飯田委員

ありません。

◎東條教育長

では、無いようでございますので、以上で教育長の報告事項を終了いたします。

ありがとうございました。

それでは、以上で本日の教育委員会定例会を閉会いたします。

以上会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委員